

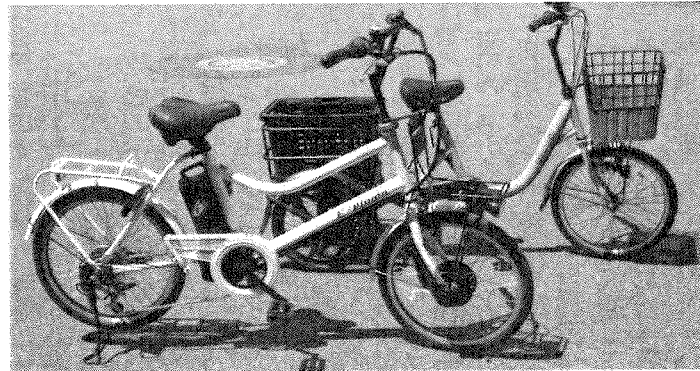
武田産業、ブランド拡充

タイへ直送体制構築

ノーパンク自転車

【千葉】武田産業（千葉県柏市、武田英世社長、04・7141・8501）は、ノーパンクタイヤを装着した自転車ブランド「チャクル」製品を大幅に拡充する。空気入れなどが不要で災害時にも強いノーパンクタイヤの特性をより訴求する製品展開を進め、ノーパンクタイヤ自転車のシェア拡大を狙う。また、国内の自転車需要は縮小傾向にあるため、2017年中をめぐりに、タイなどを中心に海外市場開拓にも乗り出す。

武田産業は国内のノーパンク自転車の大半を扱うが、ノーパンク自転車は国内自転車販売数に占める割合はまだ1%未満という。広



用や高齢者向けなどニーズを絞って、品ぞろえを増やす。3月のスタートを絞って、品ぞろえを増やす。3月のスタートを絞って、品ぞろえを増やす。

▲電動アシスト車開発なども強化していく

者を中心に幅広い世代を取り込む。前後のかがで合計30kgの積載でき、宅配など事業者向けにも提案。災害時の避難用としても活用を呼びかける。初年度1000台程度、5年後には1万台の販売を見込む。

ト車の開発も強化する。まず、女性にも使いやすい小型・軽量タイプを投入する。機能を簡素化し、定価を1万8000円（消費税抜き）に抑えた。

海外展開は、比較的高額でも需要の高いポーツタイプなど趣味向けが中心。海外でも人気のスポーツブランド「HEAD」とのコラボ商品から投入する。現在、中国に3カ所ある委託製造先工場からタイへの直送体制の構築を進めている。